

佐渡：妙見山・金北山山スキー

【山城】佐渡・金北山

【日程】2018年3月4日 晴れのち曇り 風強し、高温

【メンバー】菊池単独

【行程】平スキー場駐車場—防衛庁管轄道路に沿ってシール登高一標高 630m付近オープン
斜面標高差約 100m3 本滑走—交流センター「白雲荘」（標高 840m）—往路を滑走
—駐車場



・所用で佐渡に行くついでに、夢にまで見た佐渡での山スキー体験を目論んだ。両津行の大型フェリー「ときわ丸」に乗り込み、高校まで過ごした新潟の懐かしい街を眺めながらの船出です。前日昼まで暴風で欠航が一日半続いたが、何とか波が収まりまあまあの船日和、天気は上々。空気が澄んだやや低温の日であるため、



雪を頂いた佐渡の山々はクッキリ。あのかっこよい山頂が真っ白な山が佐渡最高峰の 1172m「金北山」、左に二つ目のレーダーがある頂が 1055mの妙見山である。滑走意欲がわきますね！！両津港に間もなく到着、テンションがぐっと上がりました。

- ・4日、所用を済ませ宿泊先の赤泊・温泉宿「サンライズ城ヶ浜」からのご来光写真です。対岸の角田山・弥彦山が見えます。風がやや強い高温の日、午前中は何とか天気は持ちそうです。
- ・どうして佐渡で山スキーなど考えたの??? 金北山の山スキーの報告はネットで調べるとかなり前の1~2件のみです。



小生が山スキーを始めたのは 25 年ほど前か、百名山の中で山スキーで登頂できる山はできるだけ山スキーで初登頂をと考え、かなりの山を山スキーで征服した。そしてネットで調べると離島での山スキー記録で利尻島・佐渡金北山・屋久島まで山スキー記録があるとの情報を 15 年ほど前に入手した。そして佐渡はオヤジの故郷で実家に夏休みには毎年のように訪れ、深い海で泳いだ記憶がよみがえる。積雪期の佐渡には訪れたことはないが、スキーに没頭している頭の中にはオヤジの実家近くの山々に雪が積もりどこかでスキーがしたいと何回も夢を見ていた。私も所属しているNBSC（新潟バックカントリークラブ）のメンバー2人が佐渡に赴任している時に山スキー経験があり、妙見山や金北山での滑走経験もあるとのこと、当時の写真や滑走ルートも入手していました。2年前のGWに利尻山での山スキーを実現できたので、最近法事などで佐渡に訪れるたびに、金北山での山スキーへの憧れが心の中で大きくなっていった。年齢的にも来年は 70 歳、やりたいことをできるだけ早く実行しないと先がないと考えていたため今回の山スキーが実現した。ルートをいろいろ調べたが、何しろ情報が少なすぎるし、標高差がかなりあり厳しい、結局佐渡に唯一ある市営「平スキー場」駐車場からスタートとなった。



- ・標高 380m程の平スキー場は航空自衛隊佐渡分屯基地の向かい側にある。すでに 9:30 過ぎ、気温が高い日で駐車場はぬかるんでいたが多くの車が駐車しており、漸くすき間を見つけて駐車できた。小さなスキー場であるが、まあまあの混みよう。新潟港の佐渡

汽船乗り場で大型スクリーンに平スキー場のプロモートビデオが放映されていたのにはびっくりした。家族連れが多いですね。短い斜面を一滑りして入山した。防衛省管轄道路は既に除雪されており、その脇や周辺の林の中を道路に沿って進んだ。

- ・ 暫く進むと金北山雄姿が望まれた。山頂にせり



あがる急な沢地形が見える。その右側に登山道があるがNBSCの先輩はこの沢ルートを山頂から滑走したようだ。素晴らしい気力・体力・技術の持ち主ですね、尊敬いたします。とてもあのルートでの登頂滑走は無理で高嶺の花ですね。小生はとにかく少しでも佐渡の山で山スキーを実現できたという実感だけでOKです。林間にはブナの木も出てきました。この

辺はツリーランが楽しめそう。こんなキノコに癒されました。



- ・ 標高 630m付近で道路の左側にこんな恰好のオープン斜面があるではありませんか。最上部は雪庇あがり亀裂が入っている急斜面であるがその下から標高差 100m位は流涎ものの好斜面。上部に行きたいが天気が悪化するしここでまず滑ることとした。高温でまあまあのザラメ雪、やや引っかかりがあるがこんな感じです。滑走終了地点から下は谷になっており、自衛隊分屯基地が見えます。そしてなにより両津湾を望みながらの滑走は気持ち良いですね。広く美味しい斜面のため登り返して標高差 100mほどを 3 本も遊ばせ



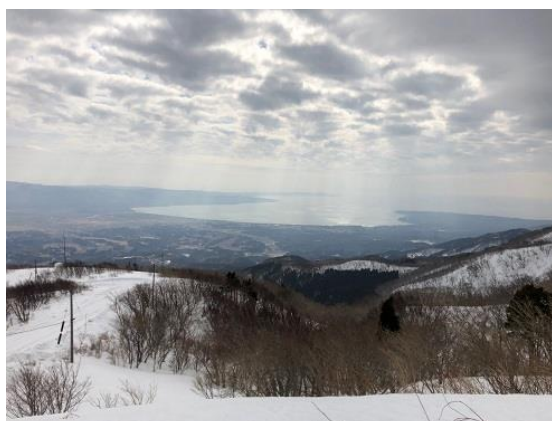
ていただきました。登り返しで振り返ると、金北山がむこうにこんな素晴らしい風景です。これが佐渡の雪山ですよ！！標高が低く高温のため、すでにザラメ滑走が楽しめました。貸し切りのノートラ斜面、どこを滑ってもOKです。気持ちよいシュプールのお絵描きで大満足でした。

- 正午を過ぎ天気が悪化してきました。ここで帰るのはもったいない。13：00頃まで少

し標高を上げてみよう。もう少し標高を上げると、今度は真野湾が望めます。雪山から両津湾、真野湾が望めるなんて、なんと素晴らしいではないか!!! 来てよかった。



・標高 840mの交流センター「白雲荘」の近くの除雪道路脇は雪壁です。大佐渡スカイラインが合流する地点です。ここに白雲荘があります。妙見山の山頂にはレーダー施設があります。この先の防衛省管轄道路は金北山山頂に向かって除雪されていますが、小生の山スキーではここまでが限界です。



- ・さあ、下界を眺めて滑走開始です。まず両津湾・加茂湖・両津港が一望です。真野湾には天使の階段が降りています。佐渡の山スキーの目的は今回で十分です！！



- ・子供の頃ドンデン山にキャンプで数回行きました。2016年5月にはドンデン山から金北山に花の大佐渡縦走山行を経験できました。大振りのシラネアオイが素晴らしかったこと！！ハードロングルートでようやく辿りついた金北山山頂には米軍から自衛隊に移管された廃墟化したレーダー施設がありました。



シラネアオイの群生



山頂の廃墟化したレーダー施設

そして白雲荘に向かう道路脇の素晴らしいブナ林に癒され、是非山スキーに来たいと感

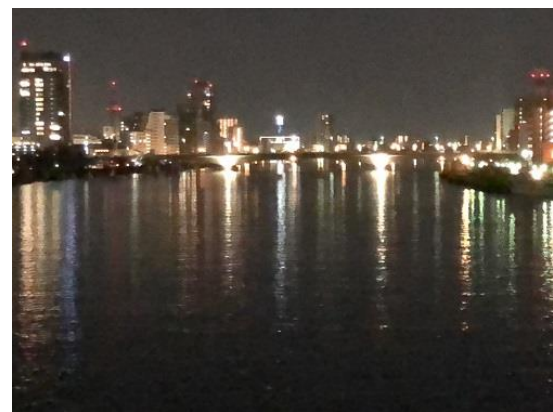
じながら歩いた思い出が蘇ります。白雲荘で生ビールを2杯ぐい飲み。すっかりいい気分になりバスで両津港に向かったのです。山スキーで訪れるのは、今回が最初で最後と思いますが、ハイキングでまた来たいですね。



- 天気が良ければ5日も山スキーをと計画していましたが、悪天予想、繰り上げて4日のうちにフェリーに乗ることにしました。フェリーの中で遠ざかっていく佐渡を余韻に浸りながら眺め、佐渡カツカレーとコーヒーをいただきました。



- 新潟港入港直前です。もうすぐ着岸、慣れ親しんだ万代橋方面の夜景です。所用を利用して実現できた憧れの佐渡・金北山山スキー旅のフィナーレです。



小生の心の故郷・佐渡での山スキーは格別でありました。

